

平成18年11月10日

各 位

上場会社名 株式会社サノヤス・ヒシノ明昌
代表者名 代表取締役社長 木村 進一
(コード番号 7020 大証第1部)
問合せ先 専務取締役 森本 武彦
経理部担当
(TEL 06-4803-6171)

中間業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年9月14日に発表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期 連結中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	33,500	100	500
今回発表予想 (B)	33,700	1,060	1,050
増減額 (B - A)	200	960	550
増減率 (%)	(0.6%)	(960.0%)	(110.0%)
前期実績(平成18年3月期中間期)	31,580	1,374	1,870

2. 平成19年3月期 個別中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	28,500	50	550
今回発表予想 (B)	28,200	550	270
増減額 (B - A)	300	500	280
増減率 (%)	(1.1%)	(1,000.0%)	(50.9%)
前期実績(平成18年3月期中間期)	26,371	966	1,891

3. 修正の理由

連結においては売上高は略計画並みでしたが、経常利益は船舶部門でコストダウンを果すとともに期中における円安の効果も加わったこと、陸上部門においても建設用エレベーター、精密機械部品及び化粧品製造機械の売上が計画以上に増加し収益が拡大したこと等から前回公表の100百万円を1,060百万円に修正します。中間純利益は主に経常利益の増加に伴うものです。

個別においては、売上高は計画を若干下回る見込みですが、経常利益は上述のとおり船舶部門及び陸上における建設用エレベーターの収益改善等に伴い前回公表を大巾に上回る見込みであります。中間純利益については、前回公表分に加え下記理由により特別損失461百万円を計上すること等から前回公表を下回る見込みであります。

4. 特別損失の計上について

関係会社のうち財政状態の回復に相当の期間を要すると考えられるものについて、個別において減損処理による関係会社株式評価損411百万円と貸倒引当金繰入50百万円を計上することといたします。

通期の業績予想につきましては、現在集計中であり、平成18年11月17日予定の中間決算発表時にお知らせします。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上